

人口ビジョン

中長期展望 (2060年を視野)

I 人口の現状分析

- ◎ 2013(平成25)年度以降、自然動態、社会動態ともに減少
- ◎ 合計特殊出生率は、全国平均を上回ってきたが、2013(平成25)年に1.42となり、全国平均を下回る
- ◎ 若い世代の九州圏や大都市圏への転出が顕著
- ◎ 中長期的には人口減少は避けられず、このまま推移すれば、老年人口すらも減少する本格的な人口減少時代へ

II 人口の将来展望

- ◎ 人口の現状分析や市民意識等調査の結果、本市の特性も踏まえ、目指すべき将来の方向と、人口の将来を展望

1. 目指すべき将来の方向

目指す姿
つながる人・まち 彩りあふれる
躍動都市・かごしま

【基本的視点】

- ① 若い世代を中心とする人口流出の抑制
- ② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③ 本市の魅力を生かした交流人口の拡大
- ④ 生涯にわたって生き生きと暮らせるまちづくりの推進

2. 将来展望

- ◎ 2010(平成22)年：約60万人
- ◎ 2060(令和42)年：51.5万人程度
- ◎ 人口構造の若返り

【参考】

- ◎ 社人研推計ベースでは、2060年は41.7万人

デジタル田園都市構想総合戦略～第2期総合戦略(改訂版)～(2022(令和4)～2026(令和8)年度の5か年)

I 基本目標

1. 稼げるしごとで 活力を「つくる」

【ねらい】安定した雇用や地域の活力を生み出すまちの創造

【デジタル活用の必要性】
デジタルの力を活用しながら、イノベーションの創出に取り組み、自らの力で稼ぐ地域づくりを進めることも必要

2. 結婚・出産・子育て の希望を「かなえる」

【ねらい】市民それぞれが希望どおりに家庭を築くことができるまちの創造

【デジタル活用の必要性】
結婚・出産・子育ての各段階に応じ、デジタルの力を活用した効果的なサービスの提供を進めることも必要

3. ひとが集うまちの 魅力を「みがく」

【ねらい】“誘客力の高さ”と“滞在満足度の高さ”を兼ね備えたまちの創造

【デジタル活用の必要性】
地域の個性を生かしつつ、デジタルの力を活用し、ひとが集うまちづくりを進めることも必要

4. ひと・まちを 多彩に「つなぐ」

【ねらい】持続性と発展性を備えたまちの継承

【デジタル活用の必要性】
デジタルの力を活用し、地域住民の生活に不可欠な機能を維持・確保するとともに、地域間連携を進めることや多様な人材を地域に引き込んでいくことも必要

II 今後の政策の方向

重点戦略

重点的かつ先駆的な取組

1. “世界に選ばれるまち KAGOSHIMA” 推進プロジェクト

【ねらい】海外からの交流人口の拡大による地域経済の活性化

- (1) インバウンド対応の強化
 - ① 各市場の特性に応じたデジタルプロモーション等の展開
 - ② 外国人観光客向けの新たな魅力の創造
 - ③ 安心快適な受入環境の整備 ④ インバウンド対応人材の育成
 - ⑤ クルーズ船の観光客が鹿児島島の魅力を体験できる環境づくり
- (2) MICEの積極的な誘致
 - ① より経済効果の高いMICEの誘致

2. “次代につなぐ ふるさと担い手” 創出プロジェクト

【ねらい】若者の定着、関係人口の創出による地域の将来を支える人材の確保

- (1) ふるさと教育の推進と大学との連携強化
 - ① オンライン等を活用した地域に根ざした特色ある郷土教育の推進
 - ② まちづくり提言の機会の創出 ③ 大学との包括連携の推進
- (2) 関係人口の創出・拡大
 - ① デジタルプロモーション等による都市ブランディングの推進
 - ② 市外在住者への体験機会の提供

3. “デジタル技術で豊かなまち” 創造プロジェクト

【ねらい】デジタル技術の活用によるまちの活力や暮らしの質の向上

- (1) 地域産業の生産性向上
 - ① 中小企業のICT等活用支援 ② ICT関連産業の振興
 - ③ スマート農林水産業の推進
- (2) 市民生活の利便性向上
 - ① ICTの活用による市民サービスの向上
 - ② 教育の情報化の推進
- (3) デジタル基盤整備
 - ① マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大
 - ② データ連携基盤の構築
- (4) デジタル人材の育成・確保
 - ① 研修やセミナー等を通じた人材の育成・確保
- (5) 誰一人取り残されないための取組
 - ① 全世代におけるICTリテラシー向上の推進

積極戦略

人口減少に歯止めをかける取組

- 1. 稼げるしごとで活力を「つくる」
 - (1) 地域産業の稼ぐ力の強化
 - ① 地域産業の競争力強化
 - ② 新事業・新産業の創出支援
 - ・ICTを活用した新たな事業展開等の促進
 - ③ 人材の確保・育成
 - ・オンラインの活用による人材育成支援体制の強化
 - (2) 魅力的で安定した雇用の場の確保
 - ① 企業立地の推進 ② 若者、女性、高齢者等の就労支援
- 2. 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」
 - (1) 若い世代の経済的安定
 - ① 若者の就業支援 ② 貧困の世代間連鎖の解消
 - (2) 結婚の希望の実現
 - ① 次世代を担う若者のライフプランニング支援
 - ② 結婚への支援
 - ・ICTの活用による結婚相談所のサービス向上
 - (3) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
 - ・アプリ等を活用した母子保健の充実
 - (4) 子育て支援の充実
 - ① 子育て支援施設の整備・充実
 - ・AI等の導入による子育て世帯等の利便性向上
 - ② 放課後における児童の健全育成
 - ・ICTを活用した児童クラブの支援の質の向上
 - ③ 子育て世帯への経済的支援
 - (5) 仕事と子育ての両立
 - ・SNSによるタイムリーな男女共同参画情報の発信

3. ひとが集うまちの魅力を「みがく」

- (1) 個性豊かな資源の価値向上
 - ① オンリーワンの魅力創出
 - ・VR・AR、アプリなどを活用した魅力向上
 - ・eスポーツの推進
 - ② 地域特性を生かした創造性豊かな景観の形成・活用
 - ③ 花や緑、公園緑地の充実
- (2) ひとが集うまちなか環境の充実
 - ① 観光客受入体制の充実
 - ② まちなかのにぎわい創出・回遊性向上
 - ・モビリティサービスのスマート化

適応戦略

人口減少社会に適応する取組

- 1. ひと・まちを多彩に「つなぐ」
 - (1) 人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進
 - ① 都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成
 - ・ICTを活用した利用しやすい公共交通の推進
 - ② スtockマネジメントの強化 ③ 住宅団地の活性化
 - (2) 互いに支え合う温もりのある地域社会の形成
 - ① 住民主体の地域づくりの促進
 - ・デジタルツール(SNS等)による地域活動への多様な世代の参加支援
 - ② 市民との協働の推進
 - ③ 多文化共生の推進
 - (3) 国内外の都市との連携・交流の推進
 - ① 国際交流の推進 ② 国内の都市との連携・交流の推進
 - (4) 移住の促進
 - ・オンライン等を活用した円滑な移住の推進